

研究機関名：旭川医科大学

承認番号	20027
課題名	肺腺癌における細胞診材料のドライバー遺伝子解析の有用性
研究期間	倫理委員会承認日 ～ 2024年 12月 31日
研究の対象	2015年1月1日 ～ 2024年12月31日に当院で肺腺癌と最終診断され、術前に細胞診が行われた方
利用する試料・情報の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 診療情報 詳細：年齢、性別、既往歴、併存疾患（癌、肺炎、感染症）、治療歴および当院における治療経過、家族歴、嗜好（喫煙、飲酒）、手術日等、腫瘍マーカーなどの検査所見、画像検査所見、病理学的所見 <input checked="" type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名：肺） 詳細：細胞診検査では、気管支表面をブラシで擦過し、スライドガラスにこすりつけた「細胞診標本」が作製されます。ブラシの洗浄液などの液状検体は、遠心して上清と沈渣に分け、沈渣のみをスライドガラス上に塗りつけて検査に利用します。 本研究では、診療利用後の気管支洗浄液（遺伝子解析用の小分け検体）、上清と細胞診標本を利用します。 手術で摘出された肺組織は、半永久的に保存可能な形に加工したものを薄く切り、顕微鏡下で観察可能な「病理組織標本」を作製します。本研究では、診断後、加工後の肺組織の残りや組織保存液の廃液、作製された病理組織標本を利用します。 <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
外部への試料・情報提供	<input type="checkbox"/> 自施設のみで利用（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 多施設共同研究グループ内 1. 札幌東徳洲会病院 医学研究所 臨床生体情報解析部(施設責任者：小野 裕介)：遺伝子解析実施の設備面や技術面の協力を依頼します。検体の提供はしませんが、遺伝子解析のために施設まで検体を持ち出します。検体は匿名化された状態とし、解析を実施する研究責任者が公共交通機関を利用して持ち出します。 抽出 DNA の試料の残検体がある場合や、解析が 2 日に及ぶ場合、上記の解析施設において一時保管し、研究期間内に全て本学に持ち帰るか破棄いたします。 2. 弘前大学大学院 保健学研究科 生体科学領域 (施設責任者：渡邊純教授)：個人情報を含まない研究内容；顕微鏡下の標本画像などを共有し、学術面の協力や研究指導を依頼します。

	<p>る情報を得るために診療として遺伝子検査の実施・再施行を提案する場合があります。患者様からお求めがある場合や根拠として説明に不可欠である場合、呼吸器内科医が本研究結果を示します。</p>
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 旭川医科大学病院 病理部 臨床検査技師 宮川 京大（研究責任者） 〒078-8510 旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号 電話 0166-69-3392 研究代表者：旭川医科大学病院 病理部 臨床検査技師 宮川 京大</p>